札幌コダーイ合唱団

ヨハネ・ノート　第6号　2005.02.17 発行

（練習スケジュールにあわせて掲載しているので，この先，曲順と一致しないことがあります）

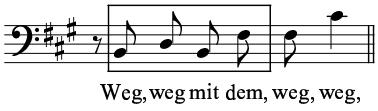
【練習の方法】

これまでのリハーサルをとおしてすでに要領はお分かりと思いますが，皆さんが一人で練習する際にも，漫然と歌うのではなく，作品の構造を把握しつつポイントを押さえて練習すると効果的です。以下に具体的な曲を例に練習法の一例を示します。

[NBA23d] (BWV44)「殺せ，殺せ，十字架につけろ」

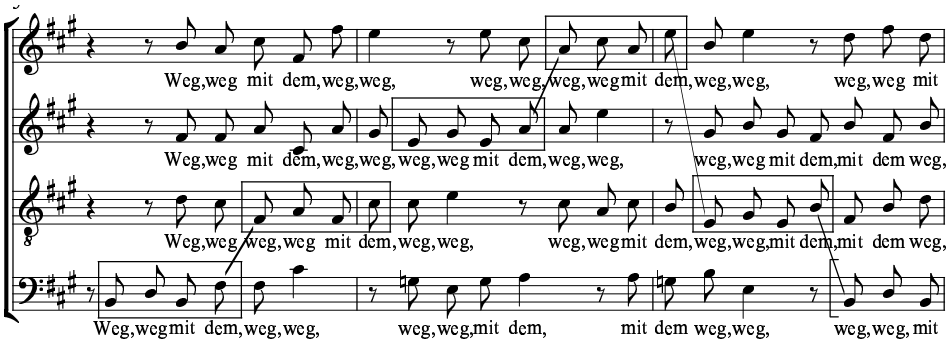
はじめに主要なモティーフを探します。この曲には①「殺せ，殺せ」のモティーフと，②「十字架につけろ」の歌詞による a, b, c のモティーフ，合わせて 4 つのモティーフが登場します。

〈1〉モティーフ①はいきなり冒頭小節の Bas.に現れます。



その後 Ten. Alt. Sop. に受け継がれ，激昂した群衆の様子を描いてゆきます。まずは楽譜のこのモティーフを四角で囲んでください。それができたら B-T-A-S…とパートを移動しながら歌う練習をします。このことによって，楽曲がどのようにできているかが把握できます。

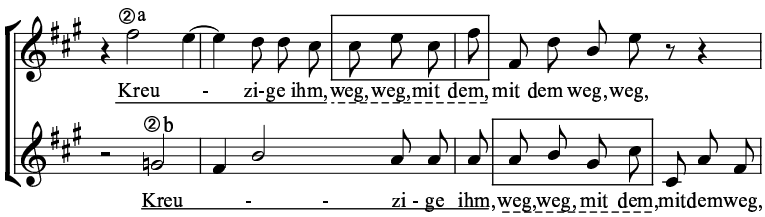
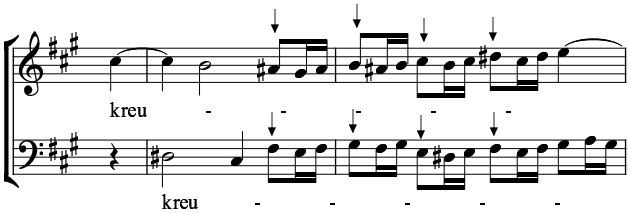
続いて自分の担当声部の練習です。①のモティーフだけを歌い，他はピアノで弾くという方法で曲全体を練習します。



〈2〉次に②のモティーフの練習です。前述したとおり（ヨハネ・ノート 4 参照），②には「破滅のモティーフ」と「十字架のモティーフ」が含まれていますので，これらを②a, b, さらに を②c と呼ぶことにします。

まず全体を通して②a，b の歌詞に下線をつけ，主要なモティーフであることを明らかにしておきます。これらはほとんどの場合 2 つの声部で同時に登場するので，2 声ワンセットで練習します。

Alt.の人であれば，対になっている Sop.パートをピアノで弾きながら自分のパートを歌います。



〈3〉第 59 小節からは②c のモティーフが現れます。8 分音符（↓）はしっかり，16 分音符はいくぶん軽めに歌うと，無理なく効果的な演奏ができます。